



評価のポイント

CL-3.看護実践能力：ニーズをとらえる力

【10-3】認知機能低下に対するケアの評価

すぐに帰ろうとする、怒っている、何度も点滴の針を抜く、ご飯を食べない、清潔ケアを拒否する、昼夜逆転の各々の場面でケアを実施して成功したこと、失敗したことを一つ以上挙げて、体験を活かして今後のケア方法を考えてみてください。普段関わっている認知症患者を想像しながら考えてみましょう。

一人の患者を想像してもよいし、複数名の患者を想像してもよい。これまで自分がどのように関わっていたか振り返る。その中で、関わり方で患者の状態が良かった例、逆に悪くなった例もあるかもしれない。決して関わり方の評価を問う課題ではなく、あくまでも自分の振り返りと考える。その中で、今回の講義を受けて、今後どのようにかわるか考えることが大切となってくる。